保 証 書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

持込修理

リビング扇風機	品　番　RFA30MP
★お客様お名前　　様	
★ご住所　〒　　★電話番号（　　）　－	
保証期間 ★お買上げ日　　年　　月　　日から 本　体……1年間	★取扱販売店名，住所，電話番号

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

1．保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
　イ．使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
　ロ．お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
　ハ．火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
　ニ．業務用としての使用、車両・船舶への搭載等一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
　ホ．本書の提示がない場合。
　ヘ．本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
　ト．消耗部品の交換
　　仕様変更　} 等
2．保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や、出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
3．ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
4．ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、下記の「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。　Effective only in Japan.
6．本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

●修理メモ

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。

●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、14ページの「修理サービスについて」の項をご覧ください。

見本

株式会社ヤマダホールディングス

【ヤマダオリジナル商品サポートセンター】TEL 0120-258-260（無料）

〒370-0841　群馬県高崎市栄町1番1号

受付け時間：午前10時～午後7時（元日のみ休日）

Y11

取扱説明書

RIAIR

リビング扇風機
品番 RFA30MP

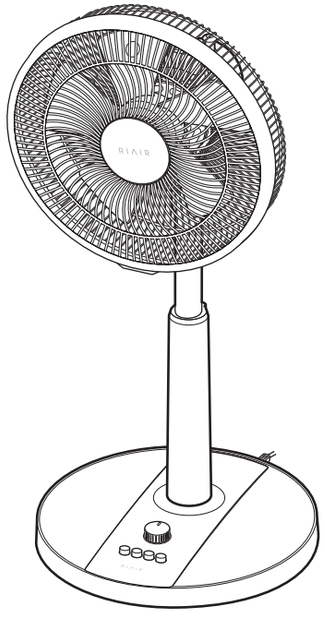
一般家庭用
（業務用としては使用しないでください）

保証書付（裏表紙）

お買上げまことにありがとうございます。

●この「取扱説明書(保証書付)」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
特に1～4ページの「**安全上のご注意**」を必ずお読みください。

●この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.



取扱説明書（保証書付）・本体には商品の色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

もくじ

ページ

お使いになる前に

安全上のご注意 …… 1～4
各部のなまえ …… 5
組み立てかた …… 6～7

使いかた

使いかた …… 8～9
●タイマーの設定をする …… 8
●首振り運転を開始／停止する …… 9
●風向きを調節する …… 9
●高さを調節する …… 9

長くご愛用いただくために

お手入れと収納のしかた …… 10～11
故障かな？と思ったら …… 12
仕様 …… 13
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について …… 13
点検 …… 14
修理サービスについて …… 14
保証書 …… 裏表紙

安全上のご注意 必ずお守りください

3 ページへつづく

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。その表示と意味は、次のようになっています。

●この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

●本文中の絵表示の意味です。

禁止 ⃠は、してはいけない「 禁止 」の内容です。	一般的な禁止 / 分解禁止 / 接触禁止 / 水場での使用・保管禁止 / 水ぬれ禁止 / ぬれ手禁止
強制 ❗は、必ず実行していただく「 強制 」の内容です。	必ず行う / 電源プラグを抜く

⚠ 警 告

異常・故障時には、ただちに使用を中止する

使用を続けると、発煙・発火・火災・感電・けがのおそれがあります。

＜異常・故障例＞
- 本体が変形したり、異常に熱い。
- 電源コードや電源プラグが変形・変色・損傷している。
- 電源コードの一部・電源プラグ・モーター部・操作部がいつもより熱い。
- 電源コードや電源プラグを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 異常なにおいや音、振動がする。
- ビリビリと電気を感じる。
- スイッチを入れても動かない。
- 羽根の回転が異常に遅いまたは、不規則になる。

※お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」に点検、修理を依頼してください。

電源コードや電源プラグは乱暴に取り扱わない

電源コードまたは、電源プラグを傷付ける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、はさみ込む、破損させる、重いものをのせる、束ねて使用する、ステップルや釘などで固定する、などをしない。

感電・ショートによる発火の原因となります。
修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。

電源コード・電源プラグが傷んだり、熱くなったときやコンセントのさし込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因となります。

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。

⚠ 警 告

子供や不慣れなかただけで使用させたり、子供の手の届くところで使用しない、保管しない

感電・けがの原因となります。

コードを突っ張った状態で使用しない

コードが断線してショート・感電・火災の原因となります。

電源コードをベースではさまない

電源コードが断線してショート・感電・火災の原因となります。

スプレー(可燃性)などを吹き付けたり、スプレー缶を近くに置かない

火災・爆発の原因となります。

スライドパイプを縮めたままお手入れをしない

誤って高さ調節ボタンを押すと、モーター部が飛び出して、けがをするおそれがあります。

組み立てる前にスタンドを立てたり、電源プラグをさし込んだりしない

不安定なため転倒し、ショート・感電・けがの原因となります。

持ち運び時、収納時に電源コードを引っ張ったり、製品を引きずらない

電源コードが断線してショート・感電・火災や畳、床面などに傷を付ける原因となります。

羽根・ガードを付けずに高さ調節ボタンを押さない

モーター部やスライドパイプが飛び出してけがの原因となります。

羽根・ガード・ベースを付けずに運転しない

けがの原因となります。

ガードやすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れない

感電・けが・故障・破損の原因となります。

運転中に本体を移動しない

けがの原因となります。

ハンドルを持って振り回さない

破損・けがの原因となります。

組み立てるときは締め付けリング、羽根キャップ、固定リングをしっかりと締める

部品が外れ、けがの原因となります。

製品の組み立ておよびお手入れは取扱説明書通り行う

部品が外れ、けがの原因となります。

絶対に改造、分解をしない

分解禁止

改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。

火災・感電・けがの原因となります。
修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。

発熱器具の近くに置かない

樹脂部分が溶けて発煙・発火・火災の原因となります。

浴室など高温多湿の場所や水のかかる場所では使用しない、保管しない

水場での使用・保管禁止

絶縁劣化による感電・漏電火災・事故の原因となります。

本体に水や油を付けたり、水をかけたり、丸洗いをしない

水ぬれ禁止

感電・ショート・発火・故障の原因となります。

ぬれた手で本体を操作したり、電源プラグを抜きさししない

ぬれ手禁止

ショート・感電・けがの原因となります。

お使いになる前に

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる前に

⚠ 警告

電源コードを本体やスライドパイプ・スタンドなどに巻き付けない
感電・ショートによる発火の原因となります。

本製品専用の部品以外使用しない
やけど・けが・故障の原因となります。

電源プラグはコンセントの根元までしっかりさし込む
さし込みが不完全な場合、発煙・発火・火災・感電・ショートの原因となります。

電源は交流100Vのコンセントを単独で使用する
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火・火災・感電の原因となります。

電源プラグは清潔にする
電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着している場合は、乾いた布で拭き取ってください。発煙・発火・火災の原因となります。

包装用ポリ袋は子供の手の届かない場所に保管する
誤って顔にかぶったり、巻きついたりして窒息し、死亡の原因となります。

電源プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く
感電・ショート・発火・火災の原因となります。

電源プラグを抜く

組み立て・お手入れ・持ち運び・収納の際は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
不意に動作してけがをしたり、感電・発火・火災・故障の原因となります。

⚠ 注意

羽根に貼ってあるラベルは絶対にはがさない
事故防止のために法律で定められた表示です。

業務用として使用しない
本製品は家庭用として設計・製造されています。業務用としての使用は、絶対しないでください。

風を長時間、体に当てない
健康を害することがあります。特に、子供やお年寄り、ご病気の方にはご注意ください。脱水症状をおこす原因となります。

掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹き付けない
変質・破損などによりけがや事故の原因となります。

テレビ・ラジオ・補聴器などの近くで使わない
電波障害の原因となります。

組み立てた状態では輸送しない
輸送するときは、箱に収納してください。破損の原因となります。

カーテンなどの障害物の周辺や不安定な場所、高い場所では使用しない
不安定な場所や高い場所、首振りをさまたげる障害物があると転倒し、羽根破損・けがの原因となります。

本体を引きずらない
床や畳を傷付ける原因となります。

前ガードの全周、クリップは確実にはめ込み固定する
けがの原因となります。

⚠ 注意

お手入れにはアルコール・シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない
印刷内容が消えたり、製品の変質や劣化による故障や破損、けがや事故の原因となる場合があります。お手入れはぬるま湯か台所用中性洗剤などを使用してください。
※洗剤の種類によっては、台所用中性洗剤でもプラスチック（樹脂）に使用できないものがありますので、洗剤の注意書きをよくご確認のうえご使用ください。プラスチック（樹脂）に使用可能な洗剤でも、洗剤分が残っていると、化学作用によりプラスチック（樹脂）を侵し、破損してけがや事故の原因となる場合がありますので、お手入れ後洗剤分が残らないようしっかり拭き取ってください。

次の場所では使わない
- 綿ぼこり・砂ぼこり・金属粉の多いところ
- 火気の近くやガスレンジなど炎の近く
- 屋外や雨・水しぶきのかかるところ
- 高温（40℃以上）・低温（5℃以下）・多湿になるところ
- キッチンや工場などの油・油煙が発生するところ
- 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などの引火性のものや引火性ガスがあるところ
- 直射日光など、強い紫外線の当たるところ
- 油や薬品を使用するところ

感電・ショート・火災や爆発のおそれがあります。また、事故や故障の原因となります。

破損した羽根・ガードは使わない
けがの原因となります。

運転中は高さ調節・ガードを持って風向調節（上下左右方向）をしない
けが・故障の原因となります。

ガードに髪や衣類などを近づけない
髪などが巻き込まれ、けがをするおそれがあります。

スライドパイプに油などを付けない
伸縮部分が急にスライドするなどしてけがの原因となります。

羽根、ガードなどに強い衝撃を与えたり、操作ボタンを強く押したり、操作部にのったりしない
破損・故障の原因となります。

組み立てるとき、お手入れするときはモーター軸を目や顔に近づけない
けがの原因となります。

接触禁止

運転停止直後はモーター軸が熱くなっているので、お手入れをしたり直接触ったりしない

接触禁止

ガードの中や可動部へ指などを入れない
けがの原因となります。
とくに子供には注意してください。

コンセントの周りは清潔にする
絶縁劣化による感電・漏電火災・けがの原因となります。

本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する
羽根やガードが外れたり、落下によりけがの原因となります。

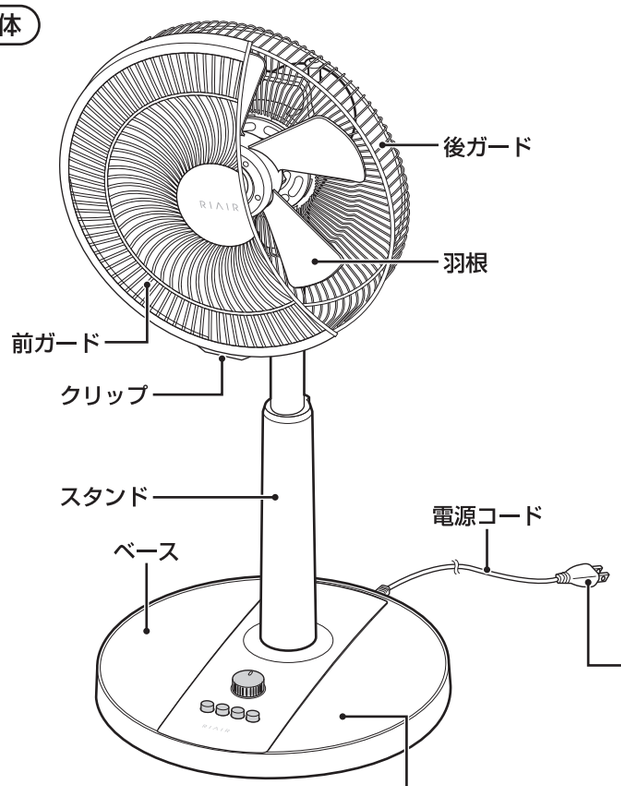
市販の保護ネットを取り付けるときは、たるみがないようにする
市販の保護ネットは、たるみがあるとガードに吸い込まれ、羽根の破損・けがの原因となります。

電源コードが破損した場合には、危険が生じないようにするために、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。

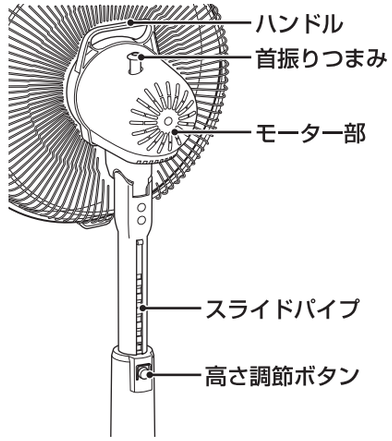
お使いになる前に

各部のなまえ

本 体



背 面



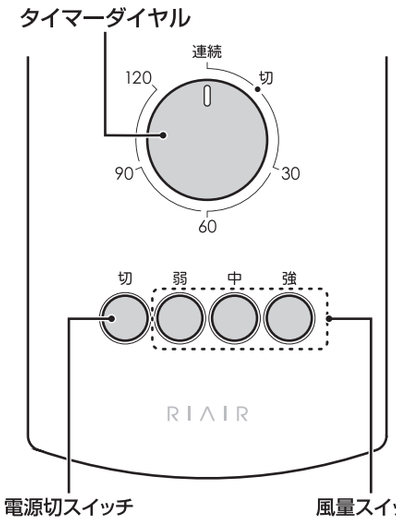
電源プラグ

交流100Vのコンセントをご使用ください。
使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

操作部

お願い

- 印刷部はアルコールで拭かないでください。印刷が消えるおそれがあります。

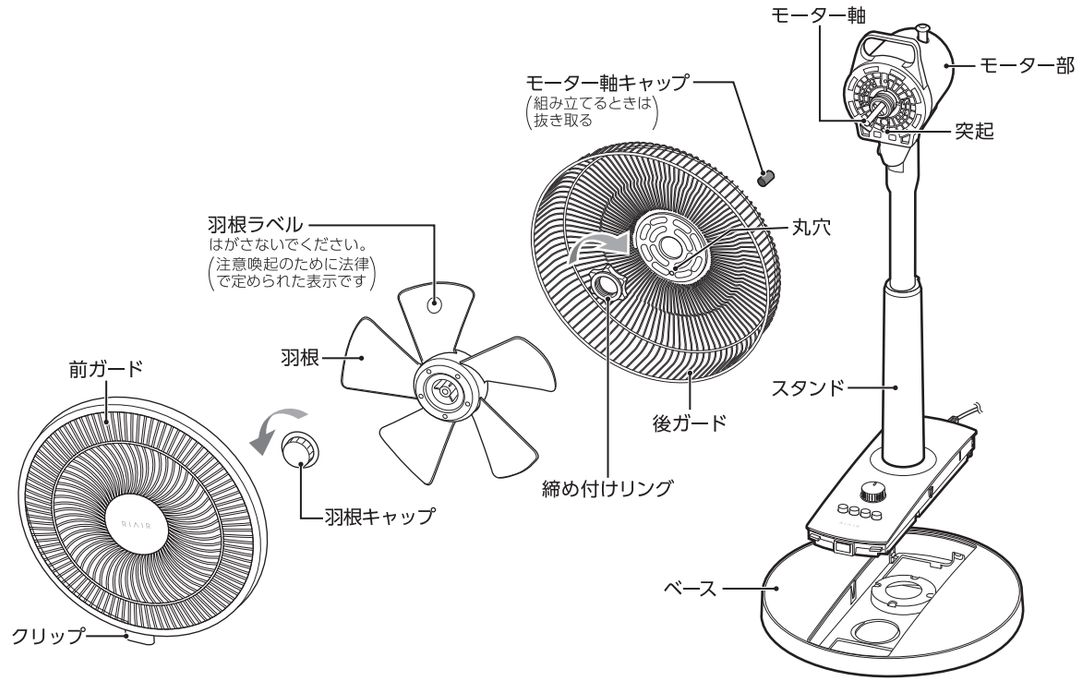


組み立てかた

7 ページへつづく

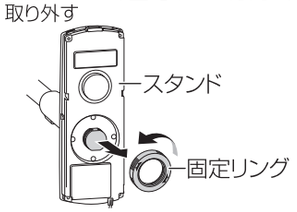
ご注意

- 本製品が入っていた梱包箱・包装部品やモーター軸のキャップは、収納時に必要です。なくさないようご注意ください。
- 組み立てるときは、各部のすき間や可動部に指や手をはさまないように注意してください。
- 羽根・ガードを取り付けないで高さ調節ボタンを押さないでください。モーター部が飛び出して、けがをする原因となります。
- 組み立てるとき・お手入れをするとき・持ち運ぶときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・けがの原因となります。



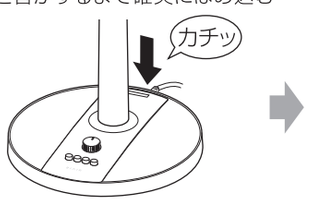
1 スタンドをベースに取り付ける

① 固定リングを「🔓」ゆるむ方向に回し、取り外す

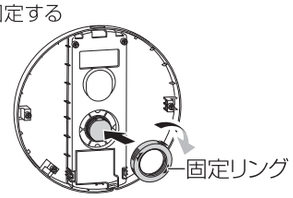


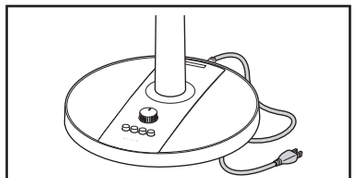
② 電源コードをコードガイドに通し、スタンド前面の凸部をベース前側の凹部にさし込む

③ スタンド後部をベースに“カチッ”と音がするまで確実にはめ込む



④ 固定リングを「🔒」しまる方向に回し、スタンドとベースを確実に固定する





※電源コードが、ベースと床にはさみ込まないようにご注意ください。

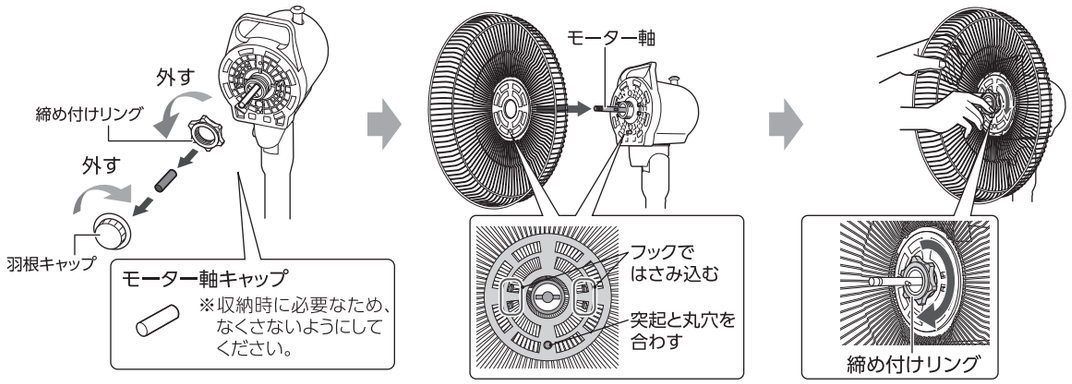
組み立てかた

2 後ガードを取り付ける

① 羽根キャップ・締め付けリング・モーター軸キャップを取り外す

② 後ガードの丸穴とモーター部の突起を合わせ、フック(2カ所)ではさみ込む

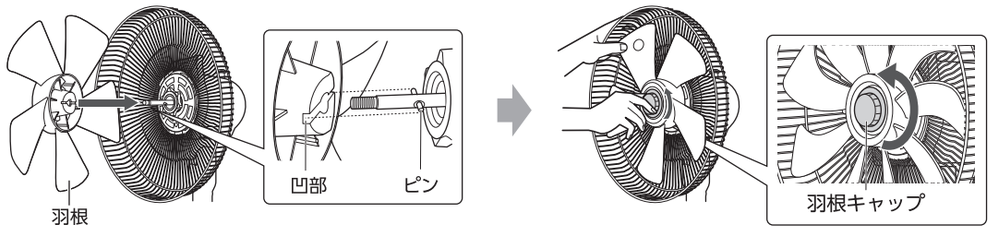
③ 締め付けリングを「🔒」しまる方向に回し、しっかり締め付ける



3 羽根を取り付ける

① モーター軸のピンに羽根の凹部を合わせてさし込む

② 羽根を押さえながら、羽根キャップを左へ回して確実に締め付ける



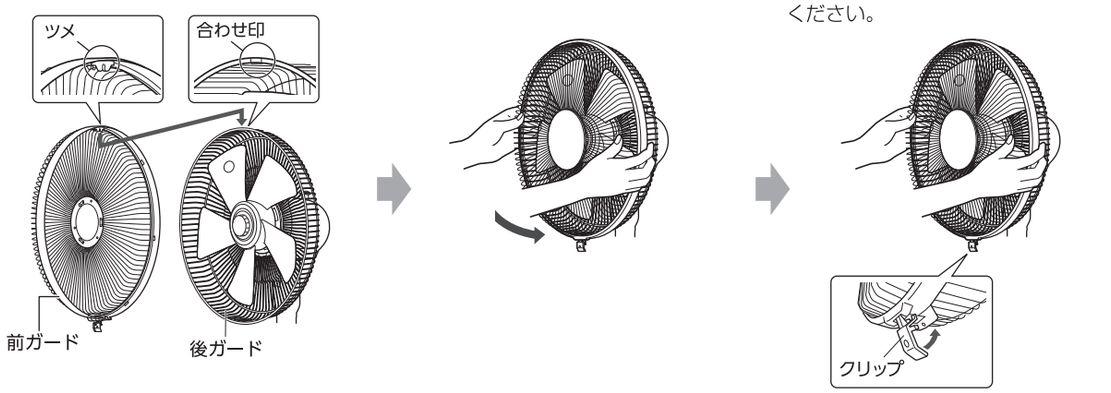
4 前ガードを取り付ける

① 前ガードのツメを、後ガードの合わせ印に合わせてはめ込む

② 前ガードを後ガードにかぶせるように、上から順にはめ込む

③ クリップを“カチッ”と音がするまで押し込む

※ 前ガードが外れないことを確認してください。



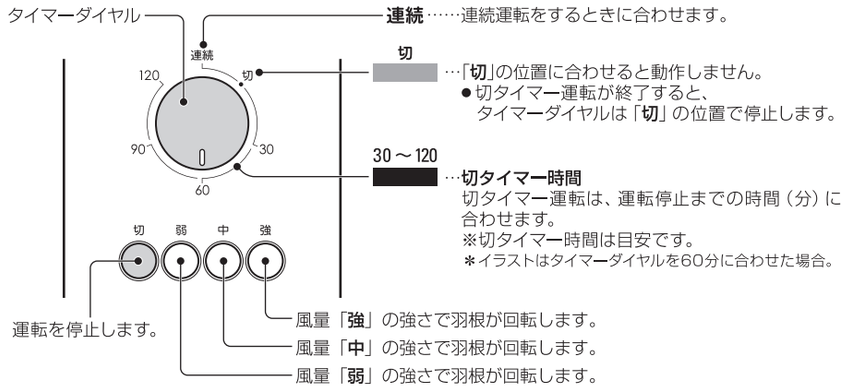
使いかた

9ページへつづく

運転の前に

ご注意

- 電源コードの結束バンドは必ず外してください。
- 電源は交流100Vのコンセントを単独で使用し、電源プラグはコンセントの根元までしっかりさし込んでください。
- 本製品を不安定なところに設置しないでください。



1 電源プラグをコンセントにさし込む

2 「タイマーダイヤル」を「連続」に合わせ、お好みの「風量スイッチ」を押す

- お好みの風量で運転を開始します。

3 運転を停止するときは、「電源切スイッチ」を押す

- 運転を停止します。

4 電源プラグをコンセントから抜く

タイマーの設定をする

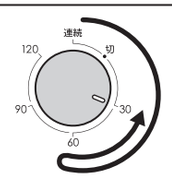
「タイマーダイヤル」を「切タイマー時間」に合わせ、お好みの「風量スイッチ」を押す

- 切タイマー時間に合わせた場合、設定した時間が経過すると自動で運転が停止します。

※「タイマーダイヤル」が「**切**」の位置にあると動作しません。運転をするときは、「**連続**」またはお好みの時間（**切タイマー時間**）に合わせてください。

お願い

※タイマーダイヤルを「**30分以下**」に合わせるときは、「**60分以上**」回してからお好みの時間まで戻してください。

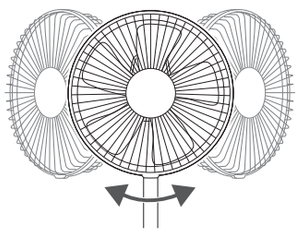


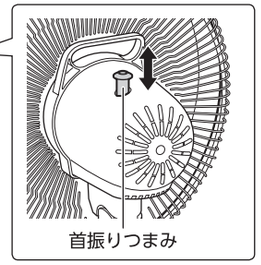
使いかた

首振り運転を開始／停止する

- 首振り運転を開始するときは、「首振りつまみ」を押し込んでください。
- 首振り運転を停止するときは、「首振りつまみ」を引き上げてください。

首振り運転を開始／停止します。



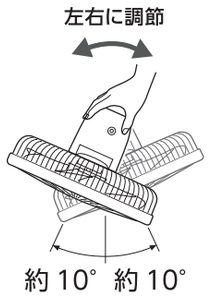


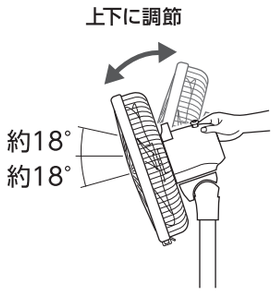
ご注意

- 風向きや高さを調節するときは、各部のすき間や可動部に指や手をはさまないように注意してください。
- 調節可動範囲（左右・上下調節範囲）を超えて無理に動かさないでください。首振り用モーターが故障する原因となります。
- 風向きや高さを調節するときは、運転を停止し、羽根が完全に止まってから行ってください。
- 本製品を持ち運ぶときは、スライドパイプを一番下に押し下げ、必ずハンドルを持って持ち運んでください。

風向きを調節する

- ベースを軽く押さえ、モーター部を上下・左右に動かしてください。



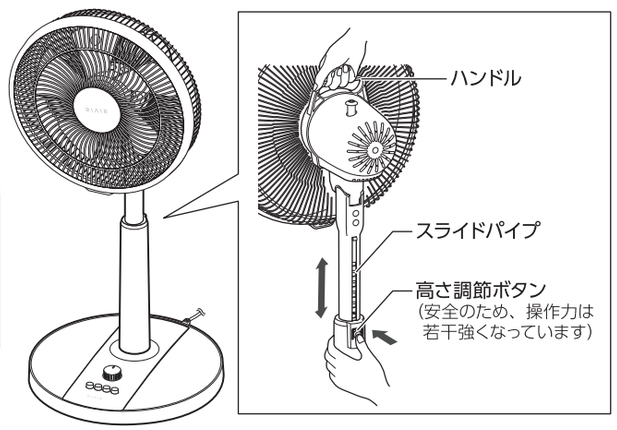


ご注意

- 運転中にガードを持って風向きを変えないでください。
- 首振り運転中に無理にガードを動かしたり、固定したり、首振り動作を妨げたりしないでください。

高さを調節する

- 高さ調節ボタンを押しながら、ハンドルを持って調節してください。
（下げるときは、上から押さえると下がります）



ご注意

- 調節時は可動部に指をはさまないように気を付けてください。
- 羽根・ガードを取り付けないで高さ調節ボタンを押さないでください。モーター部が飛び出して、けがをする原因となります。

お手入れと収納のしかた

11 ページへつづく

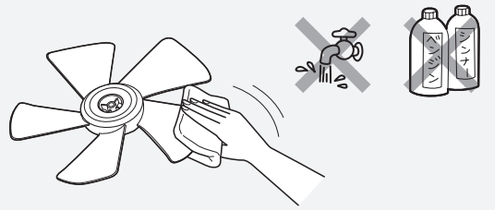
お手入れのしかた

- 羽根やモーター部にホコリが多量に付着すると、異常音・振動・モーターの過熱の原因となります。
- 定期的にガードや羽根を取り外し、お手入れを行ってください。
- お手入れをするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

羽根・本体

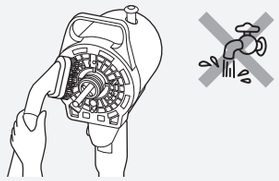
- 水を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いてから、乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、ぬるま湯または水でうすめた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いたあと、洗剤を拭き取ってください。

※シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤などは使わないでください。



モーター部

- ホコリを掃除機で吸い取ってください。



モーター軸

- 汚れを取り、さび防止のためミシン油を薄く塗ります。
- 収納するときは、モーター軸キャップを取り付けます。

ご注意

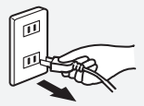
- 高さ調節のスライドパイプを縮めたままお手入れをしないでください。
- 運転停止後は、モーター軸が熱くなっています。取り外しやお手入れは、30分程度待ってモーター部が冷えてから行ってください。

収納のしかた

収納の前には

1 首振り運転を行い、ガードを正面に向ける

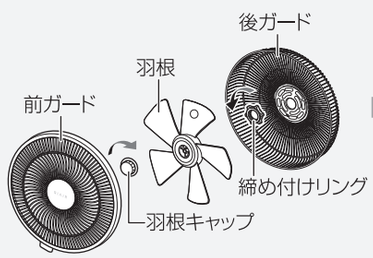
2 運転を停止し、電源プラグを抜く



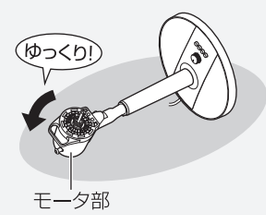
分解のしかた

組み立てかたと反対の手順で分解してください。（☞7ページ参照）

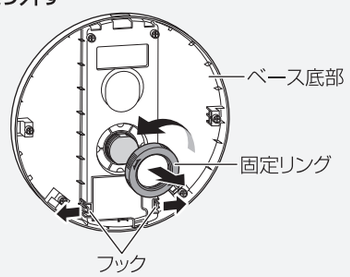
1 前ガード・羽根・後ガードを取り外す



2 モーター部を持ち、ゆっくりと本体を寝かせる
※スライドパイプは下に下げてください。



3 ベース底部の固定リングを取り外し、本体後部のフック(2カ所)をベースから取り外す

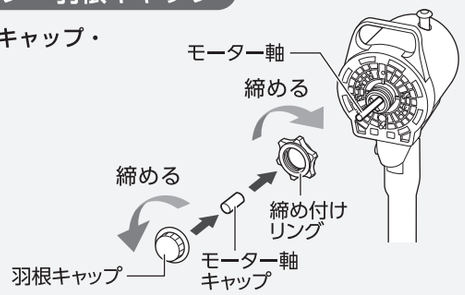


お手入れと収納のしかた

- 各部品を取り外したあとに、下記に従って収納してください。
- 収納後は、湿気の少ないところに保管してください。

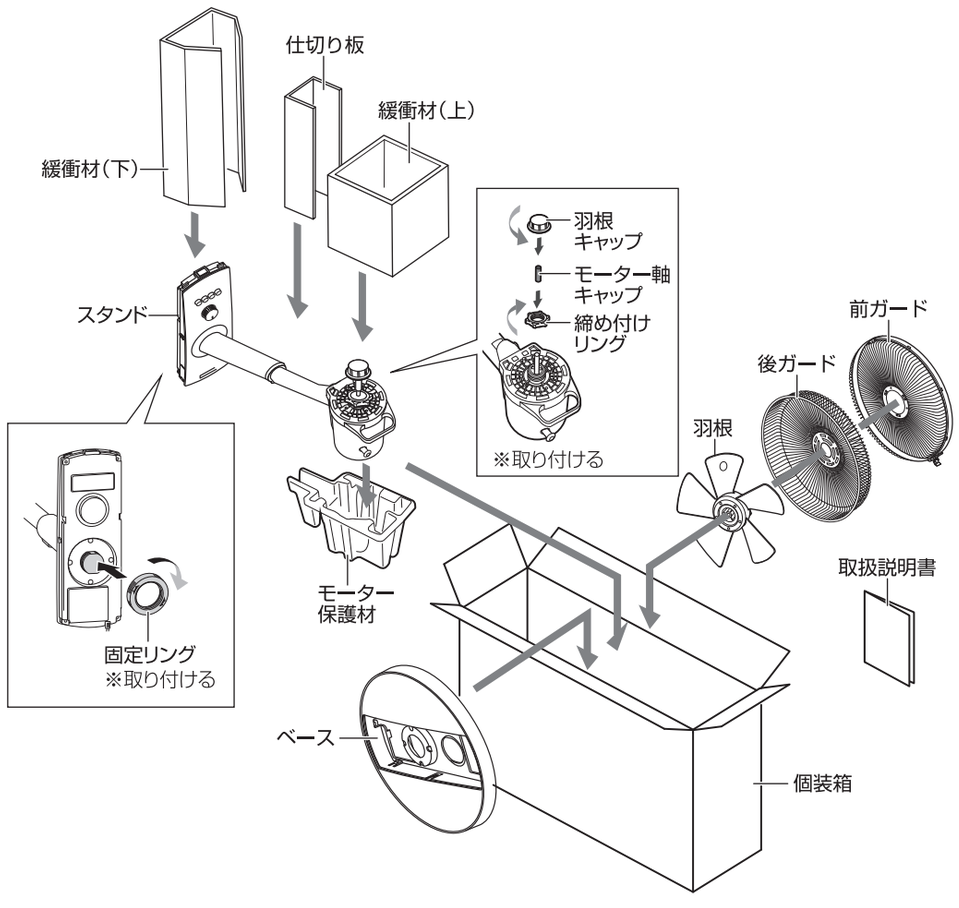
締め付けリング・モーター軸キャップ・羽根キャップ

モーター軸に、締め付けリング・モーター軸キャップ・羽根キャップを取り付ける



個装箱への収納

下の図を参考に、箱へ収納します。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお確かめください。

症　状	確認してください	処置の方法	参照ページ
風量スイッチを押しても運転されない	電源プラグはコンセントに確実にさし込まれていますか？	電源プラグをコンセントに確実にさし込んでください。	8
	タイマーダイヤルが「切」の位置になっていませんか?	タイマーダイヤルを「連続」または「切タイマー時間」に合わせてください。	8
運転中の音が異常に大きい	羽根はしっかりと取り付けられていますか?	羽根をしっかりと取り付けてください。	6•7
	ガードはしっかりと取り付けられていますか?	ガードをしっかりと取り付けてください。	6•7
	羽根にゴミが付着していませんか？	羽根のお手入れをしてください。	10
首振り運転中などの音が気になる	モーターや首振りモーター、風量が切り替わるときに運転音が聞こえる場合があります。	異常ではありません。	–
風量が変化するときの回転音が気になる	風量が一時的に強まるとき、モーターから「ウィーン」、「ウォーン」と、モーター特有の音が聞こえる場合があります。	異常ではありません。	–
首振りするときの動作音が気になる	首振りモーター特有の音で、「カタカタ」、「コトコト」という音が一時的に強まることがあります。	異常ではありません。	–
首振りの向きが左右どちらかにかたよっている	風向調節をしていませんか？	正面に直してください。正面を中心に左右に約10°調節できます。	9
羽根・ガード・ベースなどに小さいキズがある	全数組み立てて運転確認をしているため、多少キズがつく場合があります。	異常ではありません。	–

点検後、異常がある場合は、ご自分で修理しないでお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。詳しくは、14ページの「修理サービスについて」をご参照ください。

長くご愛用いただくために

仕 様

品　　名	リビング扇風機		
品　　番	RFA30MP	電　　源	交流 100V
消 費 電 力*1	周波数50/60 Hz　30 W/35 W	質　　量	約 2.9 kg
首振り角度	約 80 度	コードの長さ	約 1.6 m
外 形 寸 法	幅 360 × 奥行き 360 × 高さ 870 mm（高さ調節範囲：690 ～ 870 mm）		

＊1：風量「強」、首振り運転時の値です。

- 運転停止時の本体消費電力は約1.0 Wです。
- 仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY

長くご愛用いただくために

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

【製造年】本体に西暦４桁で表示してあります
【設計上の標準使用期間】５年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

● 標準的な使用条件　日本工業規格（JIS C9921-1）による

環境条件	電圧	AC 100 V
	周波数	50/60 Hz
	温度	30 ℃
	湿度	65 %
	設置条件	本書に基づく組み立ておよび設置
負荷条件		本製品の最大定格で運転
想定時間	1日あたりの使用時間	8h/日
	1日使用回数	5回/日
	1年間の使用日数	110日/年
	スイッチ操作回数	550回/年
	首振運転の割合	100%
注記 環境条件の湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。		

●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

点 検　長年ご使用のリビング扇風機の点検を！

こんな症状はありませんか	●本体が変形したり、異常に熱い。 ●電源コードや電源プラグが変形・変色・損傷している。 ●電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い。 ●電源プラグや電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●異常なにおいや音、振動がする。 ●ビリビリと電気を感じる。	こんなときは	**使用を中止してください。** 故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ずお買上げの販売店に点検をご相談ください。
こんなことはありませんか	電源プラグにホコリやゴミがたまっている。	→	ホコリやゴミを取り除いてください。

修理サービスについて

（1）保証書

- この製品には、保証書がついています。
  保証書は、お買上げの販売店で『販売店名・お買上げ日』等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。なお、製品の修理以外の保証はいたしかねます。
  保証期間は、お買上げ日より本体 1 年間です。

（2）修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
  内部機構をさわらずに（保証期間外の場合でも内部はさわらないでください）お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
  保証書の記載内容により修理いたします。保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
- 保証期間が過ぎているときは
  お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。
  修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

（3）補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打切後8年です。

（4）ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

- お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

（5）修理サービスについてご不明な場合

修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。

- ご転居やご贈答品等でお困りの場合は、株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。

株式会社ヤマダホールディングス

ヤマダオリジナル商品サポートセンターや保証書におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

- ヤマダオリジナル商品サポートセンターでお受けした個人情報、保証書にご記入いただいた個人情報は、商品、サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために株式会社ヤマダホールディングスおよび関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては株式会社ヤマダホールディングスと同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。

長くご愛用いただくために